

JICA 課題別研修への協力について

神奈川県内広域水道企業団では、毎年、JICA（国際協力機構）事業への協力を行っています。本レポートでは、8月2日に行われた「水道基本計画演習（管網計算）」の様子をお知らせします。

1 JICA 課題別研修について

本研修は開発途上国に対する技術協力の一環として、（公社）日本水道協会が JICA から受託して行っています。期間は平成 28 年 6 月 3 日から 8 月 12 日の約 2 ヶ月となっています。

2 企業団の協力

このうち当企業団が協力したのは、「水道基本計画」及び「水道基本計画演習」という講座で、主に水道施設の設計に必要な技術を習得するための研修です。本演習が行われた平成 28 年 7 月 29 日から 8 月 5 日までの期間中に講師として参加しました。

3 当日の様子

今回、当企業団の職員が参加・協力した研修です。

受講者はひとりずつ与えられた課題に取り組みます。



まずは、講師の東京都市大学の綾名誉教授から演習の課題について説明がありました。

本年の受講者は、東南アジア、アフリカ、中東から 10ヶ国 15名が参加しています。演習には英語が使用されるほか、身振り手振りを交えてコミュニケーションをとっていきます。



この日の研修に当企業団から講師として参加したのは土木職・設備職などの技術系職員3名でした。企業団の職員は講師として受講者からの質問に丁寧に応えていました。



受講者からは少しでも多く日本の水道技術を学びとろうと、熱心な質問が次々とでました。そんな緊張感もありつつ、ときおり笑顔もある等、会場は和やかな雰囲気でした。

これからも、当企業団では、このような国際協力を行ってまいります。

以上